



「新しい時代へ」ありがとう「平成」

岐阜県関市平成地区（旧武儀町）は関市東部にある山あいの小さな集落です。一九八九年、新たに発表された元号「平成」と日本で唯一、同じ漢字の地名であったため、平成時代の幕開けとともに空前の「平成フィーバー」が勃発しました。わずか九世帯、人口三十五人の集落は躍脚光を浴び、全国から多くの人々が訪れるとともに、日本平成村の立村や「平成」の名を冠したイベント開催や商品開発など、「平成」によるまちづくりを積極的に展開してきました。

◆道の駅「平成」

平成八年には道の駅「平成」がオープンし、年間六十万人の観光客が訪れる観光地に変貌しました。



道の駅「平成」

地区の特産品は原木シイタケ、元々特産品であったものが世に出て更に売れるようになり、椎茸茶、シイタケスナックから椎茸カツ丼などの多くの新商品が開発され恵みをもたらしました。

◆平成ごぶし街道

道の駅「平成」は、美濃と南飛驒を結ぶ県道五八号線沿いにあり



平成ごぶし街道のこぶしの花

ます。この県道は「関金山線」又は「平成ごぶし街道」の愛称で親しまれており、沿道には多くの「こぶしの木」が植えられており、春先には真っ白なこぶしの花が見頃を迎え、この道を通る多くの人を楽しませてくれます。

◆平成山（三八一峠）

山頂へは往復二時間程度で登ることができ、手軽な登山ができます。途中の平洞からは素晴らしい景色が見られます。四月三十日（平成最後の日）までに平成山に登ってみませんか！

今、新元号への改元を間近に控え、日本の中心「平成」の地から「平成時代」への愛と感謝を伝える「ありがとう！平成時代」と銘打つ



平洞からの眺望（左奥は御嶽山）



道の駅「平成」入口です

た数々のイベントが行われています。来月には、平成最後の日の入りを見る催しも計画されているなど、平成最後を盛り上げようと県内外から大勢の人が訪れています。終わりにゆく平成時代を惜しむかのように「平成ラストフィーバー」を迎えます。



◆アクセス

○東海環状自動車道「富加関IC」Cより約十分、県道五八号線「関市街地」より約二十分